

( 1 5 )

施設規模の見込みについて

# 施設規模の見込みについて

## 1. 算定の基礎

ごみ処理施設整備の計画・設計要項 2006 改訂版 (社) 全国都市清掃会議

## 2. ごみ焼却施設の規模

日平均処理量 ÷ 実稼働率 ÷ 調整稼働率 = 施設規模 (t/日)

日平均処理量 : 年間処理量 (41,893.96 t) の日量換算値

※年間処理量は、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会が算出した平成40年度の減量目標達成時における焼却対象年間ごみ量。

実稼働率 : 補修整備期間等によって、年間85日間の稼働停止日数が見込まれることから、稼働日数は年間280日間(365日-85日)となり、実稼働率は280日 ÷ 365日 ≒ 0.767となる。

調整稼働率 : 故障修理など一時停止(約15日間を想定)により能力低下することを考慮した係数として0.96

算定 41,893.96 t ÷ 365日 ÷ 0.767 ÷ 0.96 ≒ 156 t/日

## 3. リサイクルセンターの規模

日平均処理量 ÷ 実稼働率 = 施設規模 (t/日)

日平均処理量 : 年間処理量 (3,389.07 t) の日量換算値

※年間処理量は、印西地区ごみ処理基本計画検討委員会が算出した平成40年度の減量目標達成時における破碎・選別対象年間ごみ量。

実稼働率 : 稼働日数は、月曜から金曜であり(土日、祝日、年末年始を除く)年間246日間となり、実稼働率は246日 ÷ 365日 ≒ 0.673となる。

調整稼働率 : 故障修理など一時停止(約15日間を想定)により能力低下することを考慮した係数として0.96

算定 3,389.07 t ÷ 365日 ÷ 0.673 ÷ 0.96 ≒ 15 t/日

## 4. 注記

上記により算定したごみ焼却施設及びリサイクルセンターの規模は、施設整備時の直近の実績処理量を基に最終調整することから、現時点ではあくまでも見込みである。

よって、各施設の規模見込みは表現として「程度」を加える。

ごみ焼却施設の規模見込み : 156 t/日程度

リサイクルセンターの規模見込み : 15 t/日程度